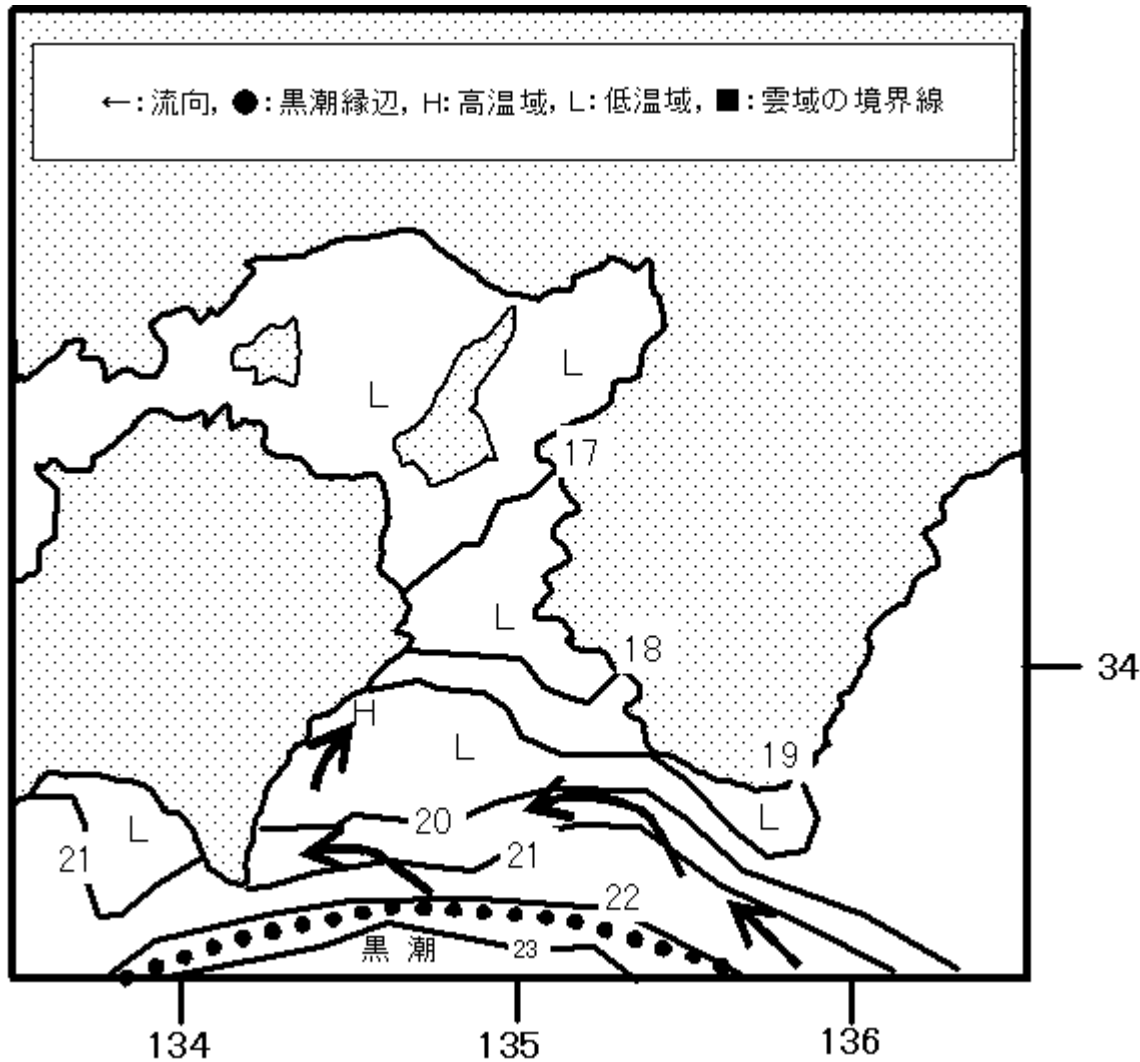


1. 海況の経過

5/18 発行海上保安庁海洋情報部海洋速報によると黒潮は、室戸岬沖で接岸し、潮岬沖でやや離岸している。



上に和歌山県の人工衛星画像海況速報(H19.5.20~21)を示した。

表面水温は播磨灘が16°C台、紀伊水道内部が16~17°Cに広く覆われ、外域が17~21°Cである。

室戸岬沖の黒潮が接岸しているため、海部沿岸に黒潮系暖水が流入している。潮岬沖の黒潮からも21°C台の暖水が紀伊水道外域中央部に波及しているが、海部沿岸までは達していない。

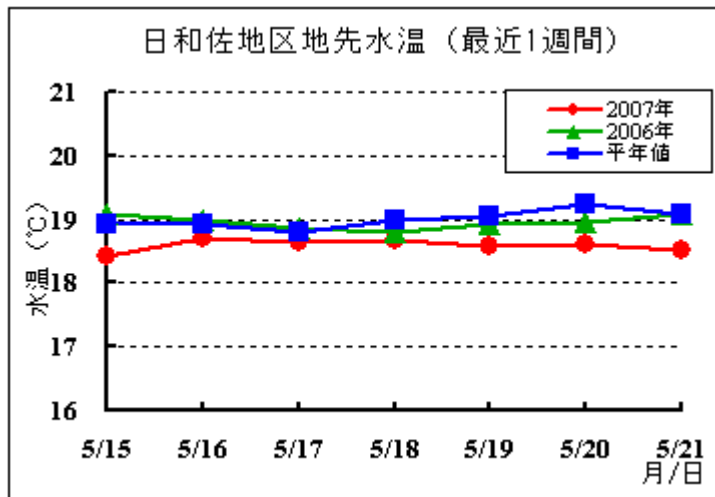
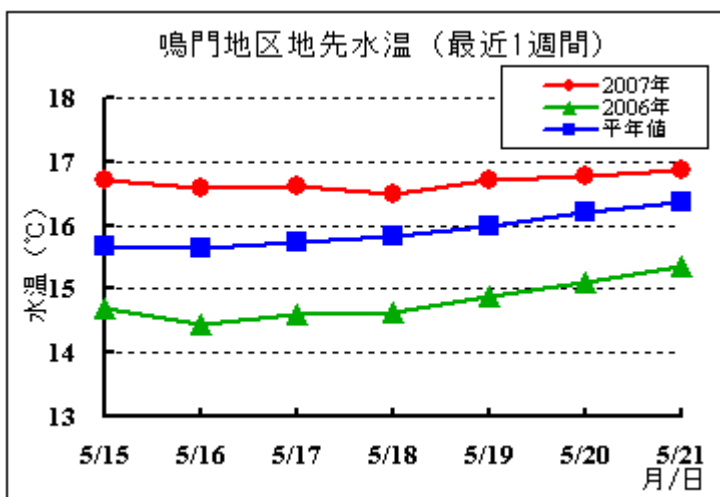
漁業調査船「とくしま」が5月9,11,15日に行った紀伊水道海区の海洋観測結果では、水温は各層とも「平年並み」で表層は16.8°C、10層は16.1°C、20m層で16.2°C、30m層で16.4°C、50m層で16.6°Cであった。

紀伊水道海区観測結果 (観測日 2007/5/9,11,15)

水温	水深					塩分	水深				
	表層	10m	20m	30m	50m		表層	10m	20m	30m	50m
今年値	16.8	16.1	16.2	16.4	16.6	今年値	33.3	33.4	33.5	33.8	34.3
平年偏差	0.1	-0.1	-0.3	-0.1	0.2	平年偏差	0.4	0.2	0.0	0.1	0.1
前年偏差	-0.1	-0.3	-0.2	-0.1	0.5	前年偏差	1.3	0.2	0.1	0.0	0.3

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」~「やや高め」の16.5~16.9°Cで、日和佐地区が「やや低め」~「平年並み」の18.4~18.7°Cで、牟岐地区は「やや低め」~「平年並み」の18.5~19.3°Cで推移した。



2. 漁況の経過

小型定置網:海部沿岸で、マメ主体にマアジが37.2トン(1日1隻あたり258kg)、マイワシが1.0トン(同63kg)スルメイカが0.9トン(同13kg)ウルメイワシが0.7トン(同41kg)、とびうお類が0.5トン(同8kg)水揚げされた。先週に引き続きマメアジの豊漁が続いている。

大型定置網:海部沿岸で、大主体にシイラが3.7トン(同457kg)、マルソウダが3.2トン(同404kg)、特大、大主体にマアジが1.0トン(同125kg)水揚げされた。

釣り:カツオ漁は低調に推移している。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが24.7トン(同181kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋)5月10日～5月16日 県下8漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	マアジ	144	37,158	258	マメ主体
		マイワシ	16	1,009	63	
		スルメイカ	67	858	13	
		ウルメイワシ	17	701	41	
		とびうお類	68	546	8	
大型定置網	海部沿岸	シイラ	8	3,654	457	大主体
		マルソウダ	8	3,235	404	
		マアジ	8	998	125	特大、大主体
パッチ網	紀伊水道	シラス	136	24,650	181	

その他県内漁模様(5/21 聞き取り)

モジャコ漁:流れ藻は多いがモジャコは少ない模様。サイズは小～大までばらつきがある。

週間予報:

黒潮の動きは流動的である。室戸岬、潮岬ともに「接岸」～「やや離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の17～18℃、日和佐地先で「平年並み」の19～20℃で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県のひき縄でカツオが19.5トン(1日1隻あたり28kg)、釣りでイサキが2.8トン(同50kg)、パッチ網でシラスが20.9トン(同394kg)水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、メジロが49.0トン、マアジが17.1トン、さば類が3.4トン、マイワシが3.3トン、ウルメイワシが3.5トン水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上